

白地小学校 「学力向上実行プラン」

①考えや思いを豊かに表現しあえる「筋道立てて話す」「相手の話を十分聴く」「よく考えて書く」力と対話的に学ぶ態度の育成
②読書・新聞・自主学習の習慣化や主体的に学ぶ態度の育成

学力向上推進員(高学年担当) 小越彩佳
委員総括……………石井徳幸 総括補佐……………新藤克己
研修主任(低学年担当)……………中川法子 教務主任……………岡 昌弘
中学年担当……………竹原朋子

校長

石井徳幸

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 基礎的な技能を習得できている児童が多い。与えられた課題や家庭学習への取り組みも良好である。自分の考えに簡単な理由をつけて発言できる児童が多い。「話す」「聴く」「書く」についての基準表を有効に活用することができている。	①基礎的・基本的な知識を確実に身につけ、自分の考えを伝えることができる。 ②漢字に慣れ親しんだり読書や新聞を読んだりすることにより語彙数が増え、対話的な学びにつながる。	①年度末のアンケートで「話す」「聴く」「書く」力がついていると答える児童が80%以上。 ②各学年に応じた読書冊数の達成者80%以上。学期末の漢字テストで75点以上の児童が80%以上。			
課題 語彙や漢字の読み書きの定着が十分とは言えない。基準表を活用して知識・技能の確実な定着を図る。少人数のため多種多様な考え方や、話し合い活動が深まりにくい。	具体的方策(教員の取組) ①「話す」「聴く」「書く」の模範となる基準表を元に取り組みさせる。 ②読書賞や新聞賞の表彰をする。掲示コーナー「読書の木」をつくる。日頃から漢字に親しむことができるよう指導の仕方を工夫する。漢字のミニテストを実施する。	取組指標 ①中間期・年度末に自己評価と教師評価を行う。 ②読書カードに読んだ本を記録し、感想を掲示する。		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 例示されている方法や解法を参考にして考え方を説明するような課題については、自信を持って解く事ができている。ホワイトボード等を使って自分の考えや思いをかき、相手に伝えようとする意欲や基本的なスキルは身につけている。	①根拠や理由を明らかにしながら自分の考えを表現することができる。 ②他者と活動したり話し合ったりしながら、自己をふり返り、自分の考えや意見を再構築できる。	①「ふりかえりアンケート」で「文章表現ができた」児童が80%以上。 ②「ふりかえりアンケート」で「自分の考えを書いたり説明できたりした」児童が80%以上。			
課題 伝えたいことを筋道を立てて書いたり話したりする力が十分とは言えない。算数における問題解決の過程や根拠を自分の言葉や図で説明していくのが苦手な児童が多い。学級会やその他の教科等で自分の考えの根拠や理由を述べる際の発言の仕方がきちんと身につけていない児童がみられる。	具体的方策(教員の取組) ①授業や行事などの機会を捉え、日記や感想文、作文を書く機会を積極的に設け、文章表現を自然に行うことができるようにする。 ②授業中に、ホワイトボードに自分の考えを図や文で書かせたり、理由や説明を加えた発表ができるよう指導したりする。	取組指標 ①テーマを決めて日記を出し、自分の思いや考えを書かせる。行事後などに作文を書かせる。 ②毎日の授業で自分の考えをまとめて表現する時間を確保する。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 学習意欲があり、学習態度も真面目で、学習規律を守って取り組んでいる。新聞に興味をもち、社会の中の自分に目を向けている児童や、自主学習や予習・復習など、自分で目標を持って取り組む習慣が身につけている児童が増えている。	①「自分の得意分野を伸ばしたり、苦手分野を克服するための課題をよく考えて書く自主学習」に取り組むことができる。 ②進んで本や新聞を読むことで社会の出来事や自然事象への関心を深める。	①「ふりかえりアンケート」で「よく考えて自主学習ができた」児童が80%以上。 ②「ふりかえりアンケート」で「新聞を読めた」児童が80%以上。			
課題 与えられた課題はこなせるが、自主学習や予習・復習など、自分で目標を持って取り組む習慣が身につけていない児童がみられる。新聞に興味はもっているが、自分から進んで読めていない児童や、内容に目を向けていない児童もいる。	具体的方策(教員の取組) ①自主学習ノートを作成し、その方法や意義について児童にわかりやすく説明し、テーマと振り返りを記入する習慣をつけ、見通しをもった自主学習に取り組ませる。良いノートを掲示する。 ②週1回「新聞を読む時間」、月1回「ニュースタイム」を設定する。	取組指標 ①自主学習ノートを活用させる。 ②子ども新聞コーナーを設け、毎日読んだ記事に付箋を貼る。児童が作成した作品を掲示する。		評価	次年度における改善事項

平成31年度 学力向上ロードマップ

